



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

中心静脈栄養時における腸管粘液の腸管透過性抑制作用に関する実験的臨床的研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 林, 勝知 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/436

はしがき

TPN (total parenteral nutrition) 施行時の BT (bacterial translocation) と腸管粘液量との関係を検討し、腸管粘液分泌促進による BT の抑制効果を明らかにすることが本研究の目的である。具体的な研究のステップは、1) 新しい BT の評価法として鼠チフス菌回腸ループ内投与モデルを開発し実用化すること、2) 画像解析装置を用いて腸管粘液の定量測定を検討すること、3) TPN 施行時の BT を鼠チフス菌回腸ループ内投与モデルを用いて評価し定量測定した粘液量との関係を腸管粘液量との関係を検討すること、4) 腸管粘液分泌の促進により BT が抑制されるかどうかを検討すること、の4段階から構成されている。

研究組織

研究代表者： 林 勝知 〔岐阜大学医学部附属病院助教授〕
研究分担者： 安村 幹央 〔岐阜大学医学部附属病院助手〕

研究経費

平成 10 年度	2,700 千円
平成 11 年度	500 千円
計	3,200 千円

研究発表

(1) 学会誌発表等

1. Ken-ichi Sakamoto, Hajime Hirose, Takayuki Ezaki, Yoshiaki Kawamura, Atsuyoshi Onizuka, Masatomo Hayashi, Takuya Yamada and Tetsu Sago : Translocation of Salmonella typhimurium in Rats ; Effect of Enteral and Parenteral Nutrition. European Journal of Surgery. 〔採用決定、掲載待ち〕

(2) 口頭発表

1. 阪本研一、鬼束惇義、林 勝知、千賀省始、二村直樹、山田卓也、左合 哲、安村幹央、金武和人、広瀬 一：鼠チフス菌投与モデルを用いた bacterial translocation (BT) の評価法に関する基礎的検討。第 51 回 日本消化器外科学会総会 1998.2.20 〔東京〕

2. 阪本研一、鬼束惇義、林 勝知、千賀省始、二村直樹、山田卓也、左合 哲、安村幹央、金武和人、広瀬 一：鼠チフス菌回腸 loop 内投与モデルによる TPN 施行時の bacterial translocation (BT) の実験的検討。第 98 回 日本外科学会総会 1998.4.10 〔東京〕